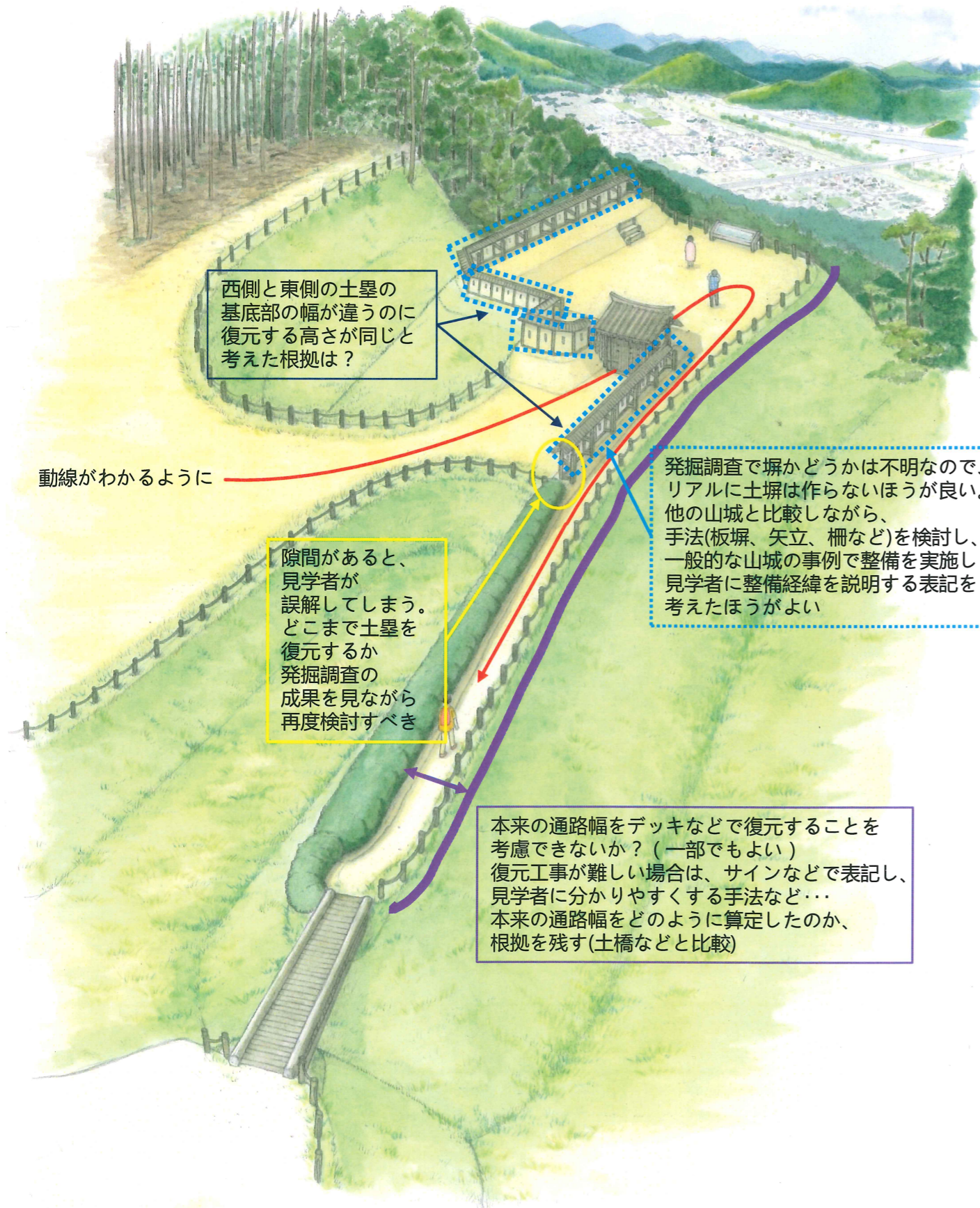


- ◎二の曲輪北馬出ゾーン全体が、城が使用されていた時代の構造がわかるものにしてほしい
- ◎他の同時期(武田・徳川)の城と比較検討し、土塁及び土塁上の構造物を再度検討してほしい
- ◎来年度は史跡整備工事を休止し、基本設計 → 実施設計を2ヶ年で行う



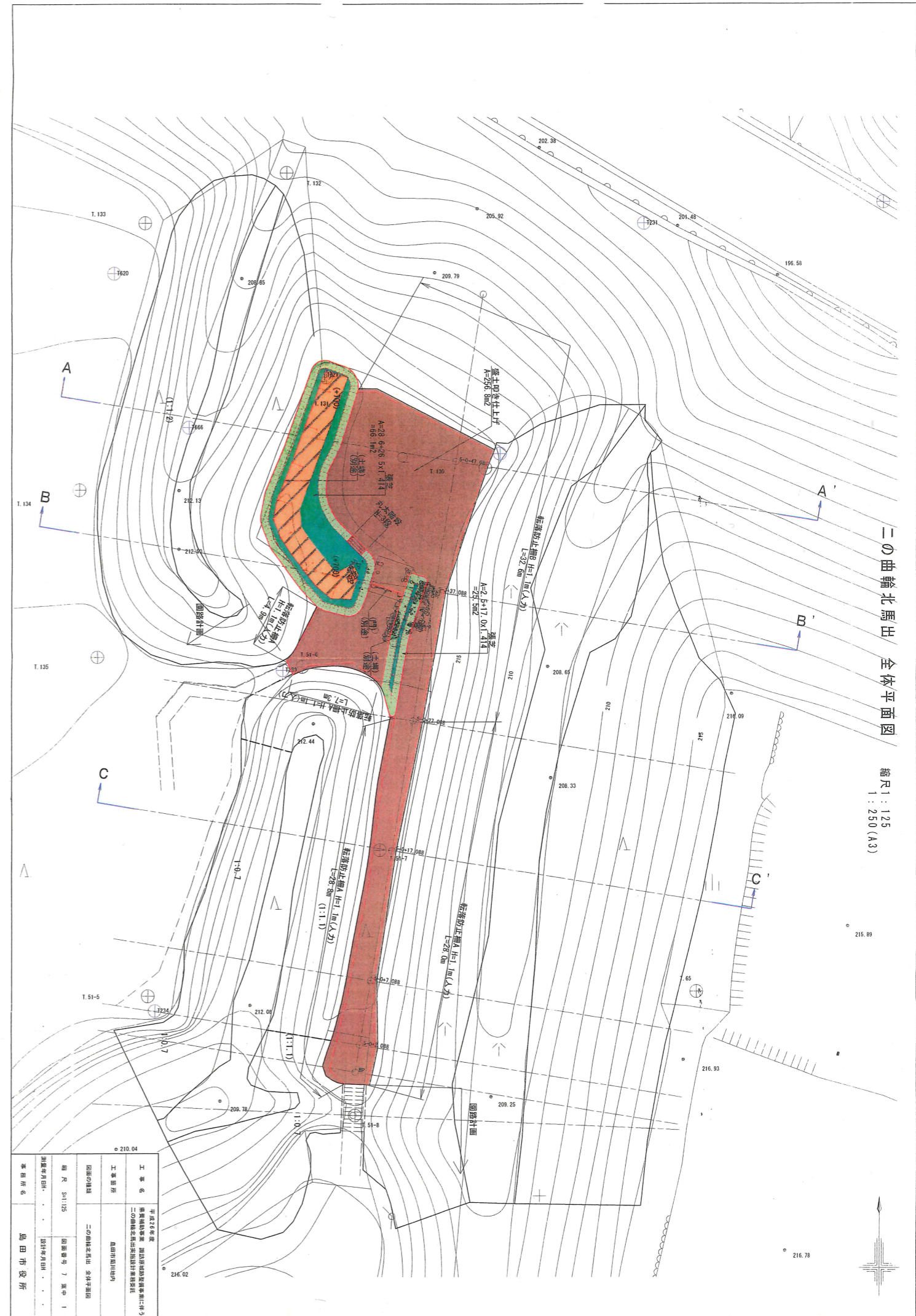
西側と東側の土塁の
基底部の幅が違うのに
復元する高さが同じと
考えた根拠は？

動線がわかるように

隙間があると、
見学者が
誤解してしまう。
どこまで土塁を
復元するか
発掘調査の
成果を見ながら
再度検討すべき

発掘調査で塀かどうかは不明なので、
リアルに土塀は作らないほうが良い。
他の山城と比較しながら、
手法(板塀、矢立、柵など)を検討し、
一般的な山城の事例で整備を実施し
見学者に整備経緯を説明する表記を
考えたほうがよい

本来の通路幅をデッキなどで復元することを
考慮できないか？(一部でもよい)
復元工事が難しい場合は、サインなどで表記し、
見学者に分かりやすくする手法など…
本来の通路幅をどのように算定したのか、
根拠を残す(土橋などと比較)



二の曲輪北馬出 全体平面図
縮尺 1:125
1:250(A3)

工 事 名	平成28年度 歴史文化財 二の曲輪北馬出史跡整備事業(中)5 二の曲輪北馬出史跡整備事業
工 事 種 別	二の曲輪北馬出 全体平面図
縮 尺	縮尺 1:125
製 図 者	島田市役所